

環太平洋社会福祉セミナー環太平洋社会福祉セミナー 2026

高齢社会における住まいと地域生活を支える包括的支援 —日本におけるホームレスネスと地域包括ケアの視点から—

日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科
(専門職大学院)

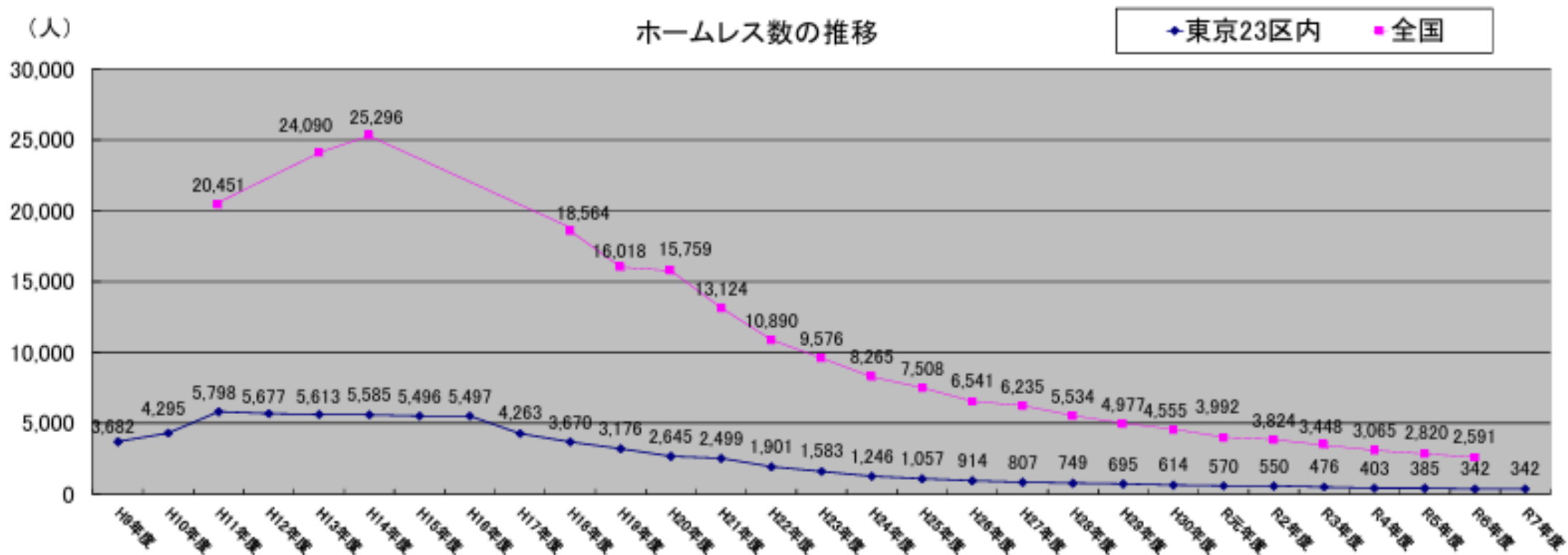
特任准教授 瀧脇 憲

発表者略歴

研究分野：生活困窮者支援、すまいまちづくり、ソーシャル・セクター

2002年から日雇い労働者の街で生活困窮者支援に従事し、地域のNPO、医療、介護関係者等と連携体制を築いてきた。居住支援団体やホームレス支援団体の全国ネットワーク理事も務め、2025年より日本社会事業大学専門職大学院の教員となる。

日本のホームレス数 25,296人(2003)→2,481人(2026)



東京都福祉局<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/fukushi/homeless202601-pdf>

【発表者注】調査客体はホームレスの自立の支援等に関する特別措置法第2条に規定する「ホームレス」(都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所とし、日常生活を営んでいる者)

路上生活者の高齢化・長期化(2021年実態調査)

性別・年齢の状況

○ 男女構成

男性	95.8%	(▲0.4%)
女性	4.2%	(+0.4%)

○ 年齢階層

～39歳	2.8%	(▲0.6%)
40～49歳	7.5%	(▲1.4%)
50～54歳	8.9%	(▲0.1%)
55～59歳	10.7%	(▲2.3%)
60～64歳	15.6%	(▲7.3%)
65～69歳	20.0%	(▲3.1%)
70歳～	34.4%	(+14.7%)

→平均年齢 63.6歳 (+2.1歳)

■ 路上生活の期間

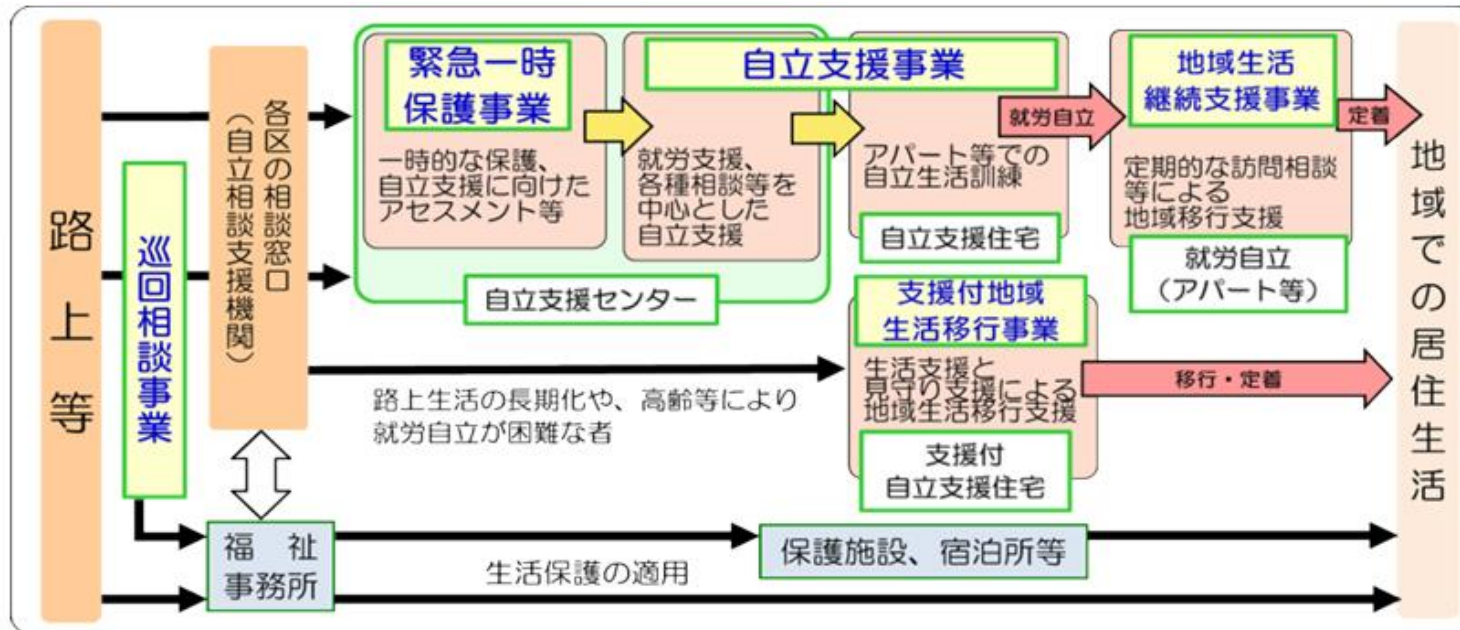
10年以上	40.0%
5年以上10年未満	19.1%

■ 路上生活に至った理由

「仕事が減った」	24.5%
「倒産や失業」	22.9%
「人間関係がうまくいなくて、仕事を辞めた」	18.9%
「アパート等の家賃が払えなくなった」	13.2%

⇒65歳以上の高齢者が54.4%

シェルターの実施状況



(東京都福祉局<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/fukushi/homeless202601-pdf>)

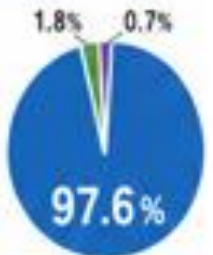
1. シェルター事業の規模

実施自治体	363 自治体	(前年度 0)
施設数	3,004 施設	(前年度 +199)
定員数	8,630 人	(前年度 +990)
年度未入所者	3,081 人	(前年度 +151)

施設増の中心は借り上げ方式シェルター
(2,731→2,931施設、5,872→6,839人)

施設類型別の内訳 (施設数/定員数)

借り上げ方式シェルター	2,931 施設 / 6,839 人
施設方式シェルター	53 施設 / 781 人
自立支援センター	20 施設 / 1,010 人



借り上げ方式が大半 (97.6%) を占める

オルタナティブな(alternative)事業と提言



簡易宿所をSRO(Single Room Occupancy)住宅に

ふるさとの会が運営する自立援助ホーム「ふるさとホテル三晃」
☎ 団体ホームページ <http://www.hurusatonokai.jp/>



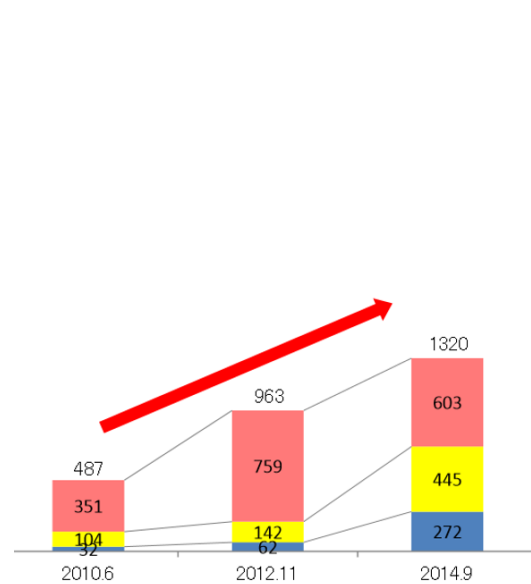
要介護の生活困窮者が都市に住む場をつくる

☎ 都政新報「NPOが『支援付き住宅』新設 墨田区内に 低所得高齢者向け」(2009年5月15日)

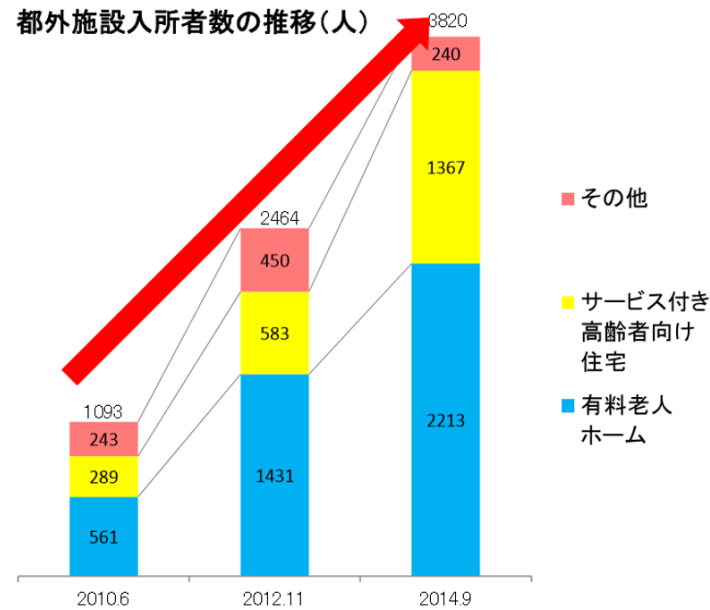
地域包括ケアシステムの「植木鉢モデル」(2012～)

低所得高齢者等の住まいの状況 (生活保護受給者の有料老人ホーム等利用実態)

都内施設入所者数の推移(人)



都外施設入所者数の推移(人)



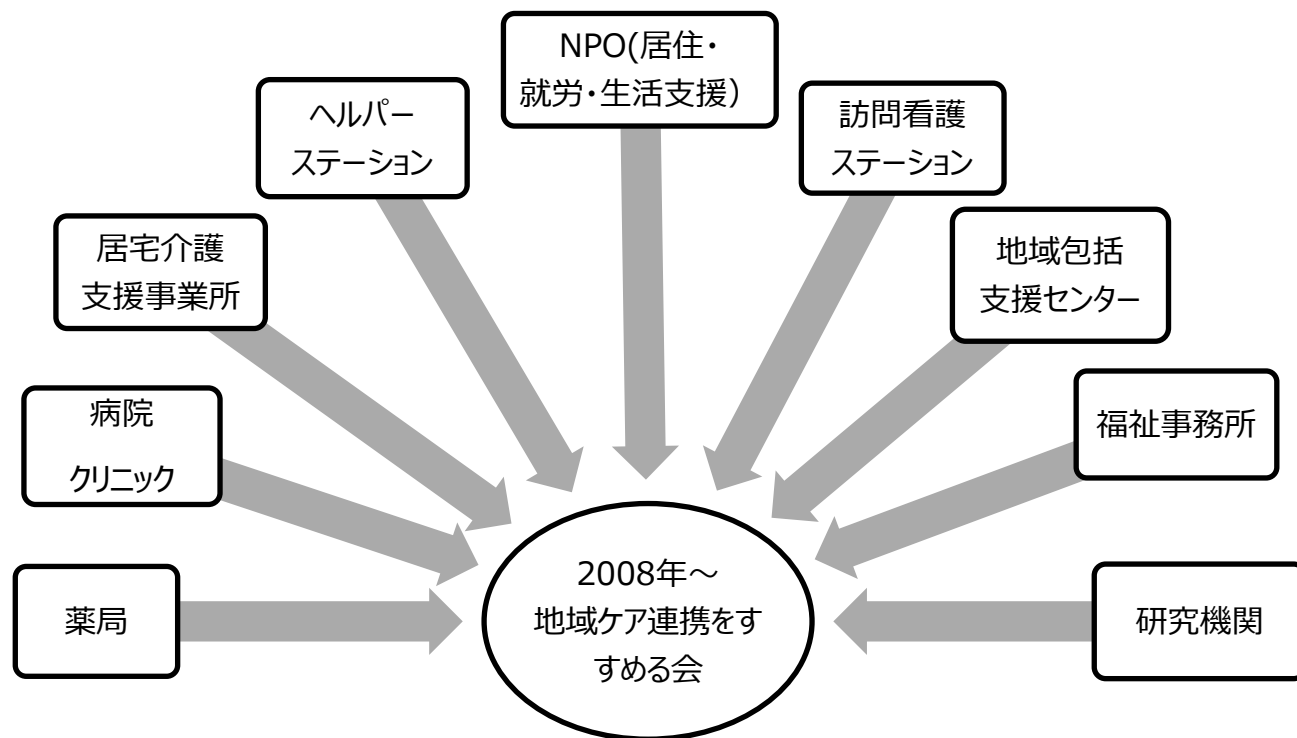
- その他
- サービス付き高齢者向け住宅
- 有料老人ホーム

* 都内福祉事務所を通じた生活保護受給者
資料:生活保護受給者の有料老人ホーム等利用実態調査結果(2010年6月、2012年11月、2014年9月)東京都福祉保健局生活福祉部保護課調査



山谷版・生活困窮者の地域包括ケアシステム

生活が困難な状況にある人々に対し、居住支援と社会サービスの事業者が連携し、安定した住居と生活、及びより善い医療・保健・福祉サービスを提供するネットワーク



【会員】
団体会員 10団体
個人会員 14名
オブザーバー会員 4名



【宿泊提供事業】



【簡易宿泊所生活支援事業】



【訪問看護】



【訪問介護】

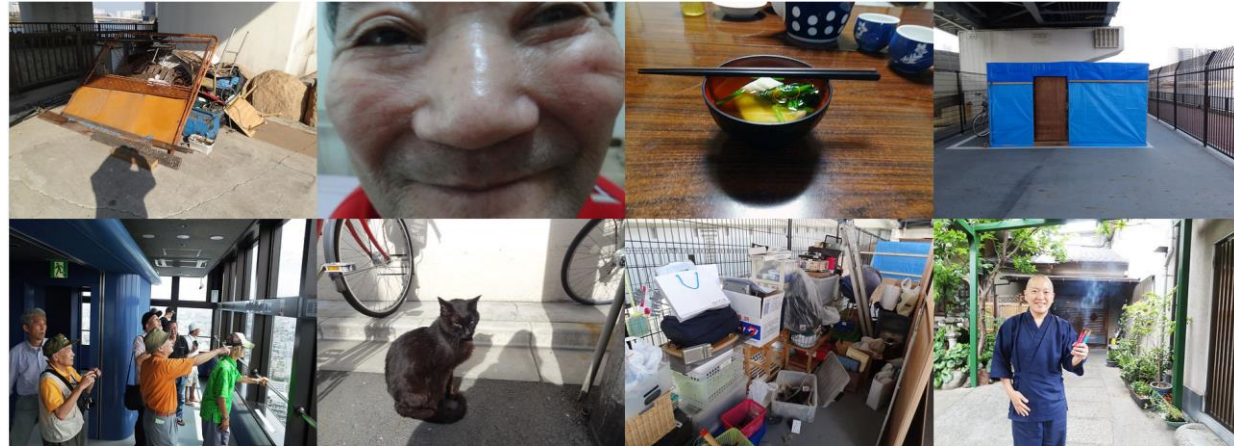


【居宅介護支援】

友愛会 <https://you-i-kai.net/>



訪問看護ステーションコスモス
<https://www.s-cosmos.org/>



山友会 山谷・アートプロジェクト
<https://www.sanyukai.or.jp/sanyaartproject-gallery>

* 各団体の許可を得てホームページから貼り付け

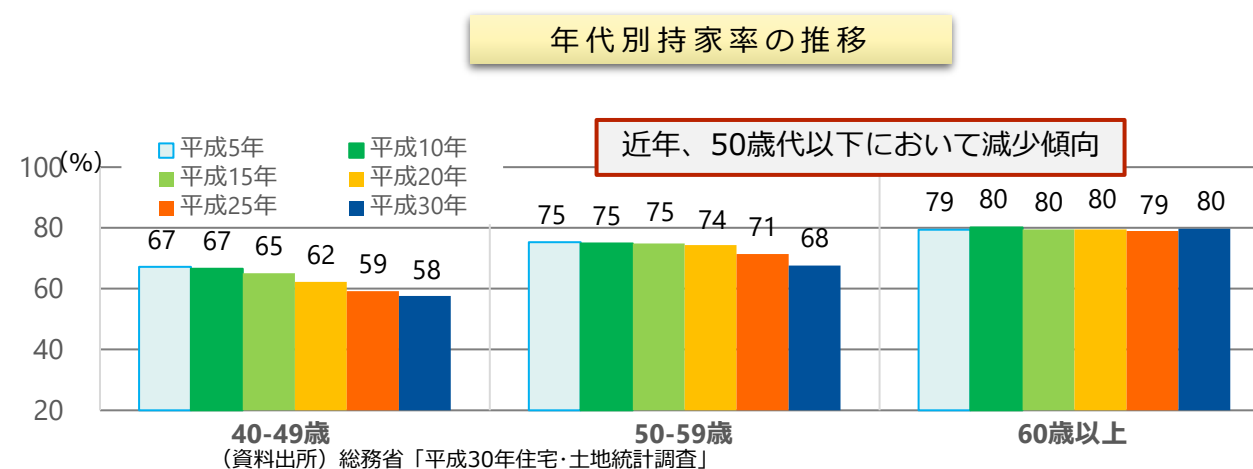
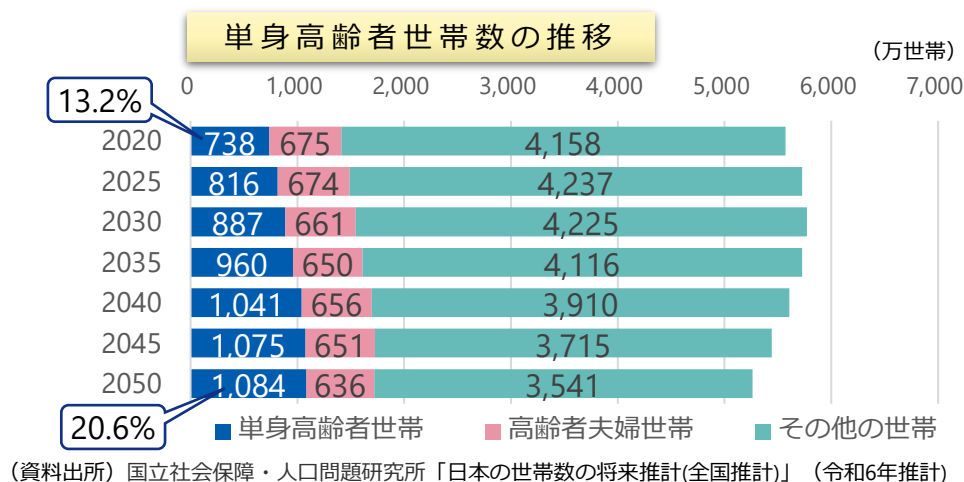
「寄せ場型地域」における生活支援の共通項

釜ヶ崎・寿町・山谷の地域特性に基づいた生活支援から共通項を抽出

- | | |
|----|-----------------|
| 01 | 住まいを拠点とした生活支援 |
| 02 | コミュニティの物語性 |
| 03 | 地域密着型医療・介護の供給体制 |
| 04 | 身寄り問題への対応モデル |

日本の高齢社会の傾向

- 単身高齢世帯の増加 2020年：738 万世帯（13.2%） → 2050 年：1,084 万世帯（**20.6%**）
- 持家率の減少 近年、50歳代以下の持家率は減少傾向



ジェントリフィケーション

